

福島市 農政だより

編集・発行
福島市五老内町3番1号
福島市農政部農業企画課
発行責任者
農政部長 斎藤 房一



福島大学食農学類「農学実践型プログラム」がスタート

第一弾は福島市産モモの新たな魅力開拓に向けた意識調査を実施

福島大学食農学類は福島市と連携し、本市産モモの特色を成分分析や消費者アンケートなどにより解析し、他製品との差別化や効果的な販売戦略、加工品としての商品開発などの課題解決に向けたプログラムを7月15日からスタートさせました。

当日はJAふくしま未来の直売所「こころ吾妻店」で、食農学類の学生が来場者にモモの好みや消費に関するアンケート調査を行いました。

このプログラムは食農学類の実践演習の一環として福島市を含む県内9市町村をフィールドとしてそれぞれテーマを設定して行われ、学生と教員が地域の方と一緒に地域農業の課題解決や地域貢献に向けた活動を行います。

本市ではモモを中心に果物をテーマとして、5年程度の期間をかけて取り組んでいきます。今年度はさらに地域別・品種別に本市産モモの成分分析を行い、その美味しさや機能性の要因を調べていきますので、その結果や活動内容について随時、お知らせしていきます。

どんなモモが
お好みですか



重点消費地で福島のももをトップセールス

トップ
セールス

九州地区（7月17～20日／北九州市・福岡市・長崎市ほか）
首都圏（7月25～27日／荒川区・川崎市ほか）
阪神地区（8月22～24日／大阪市・東大阪市ほか）



東京大田市場関係者へPR



友好都市荒川区表敬訪問



北九州市の保育園で絵本の読み聞かせ

北九州の訪問先の保育園では、ふくしま土壤ネットワークが製作した絵本「あかつきむらのももばたけ」を寄贈し、モモ産地福島に親しみを持っていただき、モモの試食では、皆さんから「おいしい」と笑顔をいただきました。また、東京大田市場では、初めて、県と県北産地合同のプロモーションを実施し、市場関係者へ福島を強く印象付けることができました。

市長を先頭に、各地の関係自治体、青果市場・量販店の消費者・流通関係者に向けて、引き続き、安全・安心でおいしい福島産モモの消費拡大、風評払拭に取り組んでまいります。



市役所食堂で地元のゴーヤを使ったスペシャルメニューを提供しました!

“夏バテ対策”に ゴーヤはいかが?

市内でもゴーヤが生産されており、直売所でも購入できます。

市役所食堂のメニューにも、8月23日限定メニューとして、地元のゴーヤを使った特別メニューが提供されました。皆さんも、残暑が続くなか、ゴーヤで乗り切ってみませんか?



生産者の皆様へ ～農産物の放射性物質検査のお願い～

令和元年産米の全量全袋検査を実施します。

出荷米、自家消費米、縁故米など、今年、市内で生産されたすべての米を対象に、米の放射性物質検査を実施し、令和元年産の米の安全性を確保し、消費者への確かな情報を提供します。

生産者の皆さまへのお願い

- ① バーコードラベルは9月中旬に各生産者へ郵送しますので、米袋の所定の場所へ必ず貼り付けてください。
- ② 生産された米は、どこの区域で生産されたものかわかるように保管してください。
- ③ くず米の検査の際は、異物を十分に取り除いてください。
土などの異物が付着したくず米は、正確な測定結果が得られず、検査に支障をきたします。くず米を検査に出す前に異物を十分に取り除いてください。

集荷、検査手順

- ① 出荷米は、JA等の集荷業者に申し込んでください。農産物検査(等級検査)後に放射性物質検査を行い、集荷業者より出荷されます。
- ② 自家消費米・縁故米等は、全量全袋検査のために委託した運送業者が集荷し、検査後、生産者に戻します。申込先・受付開始日等は、バーコードラベルと共にお知らせします。なお、申込みの時期により連絡先が変わりますので、お知らせをご確認いただくとともにご協力をお願いします。



～野菜や果物等の自主検査のお願い～

福島市では、すべての農産物の出荷・流通前に必ず放射性物質の自主検査をお願いしています。自主検査は、福島市地域の恵み安全対策協議会が、JAふくしま未来モニタリングセンターにて実施しています。(無料)

※検査の際は、検体をよく洗浄し、ビニール袋に入れて提供してください。なお、検査結果は個別に通知します。
〈問合せ先〉 農業振興課生産振興係 電話 (525) 7720

東京開催!! 「ふくしま・かわまた米コンテスト」 出品者を募集します!

来年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、安全で安心な福島市・川俣町産米のおいしさを全国の方に知っていただくために、今年度は東京都内で「第5回ふくしま・かわまた米コンテスト」を開催いたします!

お米を生産している農家の皆さん、自慢のお米をぜひ出品してください!!

◇主催：ふくしま・かわまた米コンテスト実行委員会

◇出品受付 ① 受付期間：令和元年10月1日(火)～10月28日(月)

② 場所・時間：JAふくしま未来 福島地区各営農センター
各日とも午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)

③ 出品要件：福島市・川俣町の水田で同市町に在住の農業者が生産した令和元年産米(コシヒカリ・ひとめぼれ・天のつふ) 1人1点まで

④ 出品方法：玄米1.5kgを指定のビニール袋に入れ、お申込みください。
申込用紙・ビニール袋は受付場所にて用意しております。

⑤ 募集定員：先着100名

⑥ 参加料：500円(出品時にお支払いください。)

◇審査方法：食味計による一次審査を行い、上位通過の方が、東京都内で公開で行われる2次審査に進み、お米に関わる幅広い分野の方による食味審査を経て、順位を決定します。

〈問合せ先〉 農業振興課生産振興係 電話 (525) 7720



農福連携による農作業の依頼をお受けします

障がいを持つ福祉サービス事業所の作業者が、農作業の依頼をお引き受けしていますので、農家の皆さままで作業依頼を希望する場合は、下記の〈問合せ先〉までご連絡ください。

【主な作業条件】

- ① 作業内容：植付、収穫、袋・箱詰、箱折など。(機械等を扱う作業以外)
- ② 作業人員：基本的には福祉サービス事業所職員が1名と作業員3名の1チーム4名で、送迎は職員が行います。
- ③ 作業賃金：一般的な農作業等の時給単価 *ただし、作業内容によっては出来高制などの調整は可能。
- ④ 作業時間：
 - ・1日単位で4時間程度の作業。
 - ・概ね午前10時～正午までの2時間、午後1時～3時までの2時間
 - ・作業2時間から依頼可能

【作業依頼の例】 野菜・果物の収穫、パック詰め作業、剪定木集積処理作業 など

〈問合せ先〉 農業企画課農政企画係 電話 (525) 3726

団体紹介**～ 福島市農業後継者連絡協議会 ～**

皆さん、こんにちは。

福島市農業後継者連絡協議会は福島市内の6つの青年農業クラブによって構成されている組織です。それぞれのクラブは20代から40代前半の若手農業者で構成されており活発に活動しています。また会員は地域の気候や実情に即した作物を栽培しています。

主な活動は県内外での農産物のPR活動であり、昨年は神奈川県川崎市で桃を、新潟県南魚沼市でリンゴをPRしてきました。今年は7月15日に仙台市といわき市で桃の試食・販売を行い、たくさんのお客様に喜んでいただきました。

また、農業経営を向上させるための研修会「農業経営管理塾」や、市内の新規就農者を歓迎する「新規就農者激励会」を福島市と共同で開催しています。その他、会員の親睦を深めるために6クラブ対抗の球技大会や「のうコン！」などのイベントを開催するなど、活発な活動をしています。

会員一同、福島市の農業をより一層盛り上げようと頑張っていますので、皆様応援よろしくお願いします！

〈問合せ先〉 農業企画課農政企画係 電話 (525) 3726

**農業用ため池の届出制度が始まります。**

近年、豪雨等により多くの農業用ため池が被災し、甚大な被害が発生しています。そこで、防災上農業用ため池の情報を適正に把握する必要があるため、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が制定され、令和元年7月1日より施行されました。

つきましては、農業用ため池の持ち主または管理者宛てに8月に送付した届出に関するお知らせにより、11月29日(金)までに、届出書を農林整備課へご提出くださいますようお願いいたします。

〈問合せ先〉 農林整備課管理係 電話 (525) 3728

水路・水門の管理は注意して！

- ・大雨・洪水に備えての水路・水門の管理作業は、安全第一を念頭に十分注意して行ってください。
- ・水路周辺や水門への管理通路は、転倒・滑落防止のため日ごろから除草に努めてください。
- ・水路に落ちた枝草やゴミ等は取り除いてください。

福島市の農業をPR！ 就農相談イベントに出展しました

農業に興味がある方、就農を本格的に考えている方を対象とした就農相談イベント「就農FEST」が8月4日(日)に仙台市内で開催され、主に東北の自治体や農業法人等が相談ブースを設けました。福島市も移住就農促進のため、JAふくしま未来と合同で出展し、就農支援情報や本市の魅力について発信してきました。相談者の年齢層は20代から40代が中心であり、就農動機・就農構想はそれぞれでしたが、皆さんから共通して就農に対する熱意を感じました。今後も一人でも多くの方に本市で農業を始めてもらえるよう積極的にPR活動を行っていきます。

〈問合せ先〉 農業企画課農政企画係 電話 (525) 3726



福島大学 めばえちゃん

こんにちは、福島大学食農学類です
第1回『未来の地域リーダー108人が入学』

食料・農業・農村問題へ主体的・創造的に対応する地域リーダーを育成する一。こんな目標を掲げて、福島大学に今春、「食農学類」が誕生し、1期生108人が入学しました。2年次後期から生産環境学、農業生産学、食品科学、農業経営学の4つのコースに分かれてそれぞれ専門性を高めながら、相互に連携して地域課題に取り組みます。

私は農業経営学コースに所属し、持続的な農業経営や食料供給に向けて、農業者と食品事業者(食品製造、流通、外食など)との取引のあり方や、環境変化に対する農業経営の戦略的対応や経営管理について研究しています。福島で暮らし始めたばかりですが、福島の食文化に触れながら、農業や地域経済の活性化に取り組みます。

食農学類 准教授 原田英美



～市場からのお知らせ～

おさかな フェスティバル in 福島



地元福島県で獲れる魚をもっと知って、学んで、味わうイベントです！新鮮な魚の販売のほか、郷土料理や地域の学生が考えたお魚料理のふるまい、バーチャル水族館、魚のつかみ取り、ステージイベントなど盛りだくさん！ぜひ、ご家族お揃いでお出かけください。

日時 令和元年9月29日(日)
午前10時～午後3時まで
※雨天実施(ただし荒天の場合は中止)

場所 福島市北矢野目字樋越1
福島市公設地方卸売市場内

〈問合せ先〉 福島県水産課 電話 (521) 7378

第36回『わくわく市場まつり』

「安全・安心・新鮮」な旬の野菜、果物、水産物、花き類などを販売する市場まつりを今年も開催します。多彩なアトラクションや模擬せり、マグロの解体実演販売など楽しい企画満載でお待ちしております。ぜひご家族連れでお越しください。

日時 令和元年10月27日(日) 午前9時～午後1時まで
場所 福島市北矢野目字樋越1 福島市公設地方卸売市場内
※誘導員の指示に従って場内にお入りください。
※正門からは入れません

〈問合せ先〉 公設地方卸売市場まつり運営委員会事務局(市場協会)
電話 (553) 3431



出荷者の皆さんへ

福島市公設地方卸売市場の9月から12月までの臨時休市日は次のとおりです。出荷される際には、ご注意ください。

※青果部・水産物部

9月4日(水)、9月11日(水)、10月2日(水)、10月9日(水)、10月30日(水)、11月13日(水)、11月20日(水)(青果部のみ)
11月27日(水)、12月4日(水)、12月11日(水)、12月18日(水)(青果部のみ)

※花き部 毎週木曜日と12月29日(日)、12月30日(月)

*9月16日(月)、9月23日(月)、10月14日(月)、10月22日(火)、11月4日(月)の祝日は臨時で開市しております。

〈問合せ先〉 市場管理課 電話 (553) 1213

農業委員会からのお知らせ

農業者年金に加入しましょう

【農業者年金加入条件】

- ① 60歳未満の方
② 年間60日以上農業に従事
③ 国民年金第1号被保険者
- ①～③の条件を満たす方はどなたでも加入できます。

○積立方式で安定した制度です

自ら積み立てた保険料と運用実績により受給額が決まる積立方式(確定拠出型)年金です。

年金は生涯支給されます。仮に加入者や受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。

○保険料の額は自由に決められます

毎月の保険料は2万円から6万7千円まで千円単位で自由に選択できます。

○税制上のメリットがあります

支払った保険料は社会保険料控除の対象になります。

○国からの補助があります

認定農業者である等、一定の要件を満たす場合、保険料に対し国からの補助があります。

※詳細はお問い合わせください。

〈問合せ先〉 農業委員会事務局 電話 (525) 3779

農地利用意向調査にご協力をお願いします

農業委員会では、農地利用の最適化を推進するため、「農地利用状況調査」と「農地利用意向調査」を実施しています。

「農地利用状況調査」について

農地法第30条に基づき、農地利用最適化推進委員が毎年農地の利用状況を現地調査するもので、これにより、違反転用の早期発見や遊林農地の実態や農地が適正に利用されているかなどを確認しています。

「農地利用意向調査」について

農地法第32条に基づく「農地利用状況調査」において、しばらく草刈りなどの管理がされていないため「遊休農地」と判断した場合、その農地の所有者や借受人を対象に、今後の農地の利用意向を確認しています。該当する農地について、農地中間管理事業(福島県農地中間管理機構)などを活用した農地の貸付を行う意向があるか、あるいはご自身で耕作する意向があるかなどを調査し、今後の農地の利用について検討していただくためのものです。

調査票がお手元に届いた際には、調査へのご協力をお願いします。